



国立国際医療研究センター (NCGM) では、国際的に脅威となる感染症に対する医薬品や医療機器等の開発推進と普及を目的とした活動の一環として、国内外の感染症に関する情報提供と意見交換の場を提供するNCGM国際感染症フォーラムを2018年に設立し、概ね年4回の頻度で開催しております。

本フォーラムは「世界と繋がる産官学連携」を目指しており、今後さらに多くの団体や関係者にもご参加いただきたく、入会方法をご案内いたします。



NCGM 国際感染症フォーラム

本フォーラムでは、専門家（国内外）のご講演により国内外における感染症の最新情報、産官学連携の動向、さらには感染症指定医療機関ネットワークによる防疫管理体制、国際臨床研究ネットワークを活用した事業内容などをご報告いたしております。企業・医療機関及び研究機関等の関係者の方々に、これらの情報をご活用いただき、併せて会員相互のネットワーク構築にご活用いただければと存じます。具体的には本フォーラムで取り上げる主な内容は、本誌ウラ面に記載の通りです。また、今後は会員の皆様方のご意見・ご提案に沿った内容についても検討させていただき所存です。

■ 会員の特典

1. フォーラムの開催案内が事務局から毎回配信されます。
2. 参加費用は無料です。基本的に各会員団体からの参加人数には制限はございません。
3. フォーラムでの発表資料は一部を除き後日ウェブサイトから入手できます。
4. 診断薬 / 検査機器、治療薬、予防薬等の海外展開、特に NCGM が構築する国際協働臨床研究プラットフォームの活用についての相談を受けることができます。

※ 本フォーラムの概要ならびに運営など詳細につきましては、ウェブサイト上のフォーラム会員規約をご参照ください。

■ 募集要項

対象 製薬会社、医療機器会社、アカデミア（大学院生等を含む）、病院関係、製薬協会等の団体、官公庁（内閣官房・厚労省）、メディア

- ※ 大手企業だけでなく、中小企業や研究者のご参加も歓迎します。
- ※ 今後はオンライン開催がメインとなる可能性が高いので、海外からの参加者も想定しています。

会費
参加費
無料

■ 申込方法

以下のいずれかの方法でお申し込みください。入会確認は e-mail にて後日ご連絡いたします。

- 1 インターネットでのお申込み
「会員登録はこちら」から、必要事項をご入力ください。
- 2 入会申込書からのお申込み
必要事項を記載の上、本フォーラム事務局に FAX または e-mail で送信ください。
(お申込書が必要な方は事務局にお問い合わせください。)

NCGM 国際感染症フォーラム事務局

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

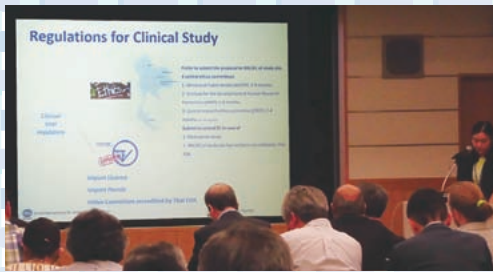
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
インターナショナルトライアル部

TEL : 03-6228-0445 FAX : 03-6228-0486

e-mail : kansensho-forum@hosp.ncgm.go.jp

website : <https://ccs.ncgm.go.jp/050/index.html>

NCGM 国際感染症フォーラム



Access to Regulatory Authorities in Thailand



高所得国以外のワクチン事情～GAVI, The Vaccine Alliance での経験から

1 海外における感染症

- ・ アジア地域
感染症の動向、特に新興・再興感染症
- ・ 韓国
MERS アウトブレイクと再燃に対する対応
- ・ タイ
ワクチンで予防可能な疾患
- ・ インドネシア
予防接種関連疾患に関するサーベイランスと臨床研究
- ・ コンゴ民主共和国
エボラウイルス病アウトブレイクの調査報告

2 各種感染症に関する最新の知見と臨床試験

- ・ 疫学・ウイルスの基礎情報 (ウイルス性肝炎、エボラ出血熱 MERS、COVID-19、その他新興・再興感染症等)
- ・ 国際共同治験に関する動向
- ・ 東南アジア諸国・コンゴにおける臨床研究
- ・ 国境なき医師団のデータシェアリングプロジェクト
- ・ NCGM 臨床研究センターが取り組む国際臨床研究試験

3 薬剤耐性菌 (AMR)

- ・ AMR アクションプラン
- ・ NCGM AMR 臨床リファレンスセンター
- ・ 海外における AMR コントロールの現状と問題点

4 我が国の医療行政、各国の規制状況

- ・ 我が国の新興・再興感染症対策
- ・ PMDA アジア医薬品・医療機器トレーニングセンター
- ・ 海外における医療品へのアクセス
- ・ 海外における規制当局へのアクセス
- ・ CRO のアジア展開

5 新しい医療技術や薬剤の開発状況

- ・ 新薬の開発状況、製薬企業のアジア展開
- ・ 感染症領域における医療機器開発事例
- ・ 抗菌薬開発の歴史と今後の展望
- ・ 日本のワクチンの現状と展望

6 NCGM 全体と臨床研究センター国際ショナルトライアル部の取り組み

- ・ 国際感染症センターの取り組み
- ・ グローバル臨床研究ネットワーク拠点形成事業
- ・ 各国の臨床研究
- ・ 東南アジア諸国の規制当局へのアクセス
- ・ AMR リファレンスセンターの活動

▼ 直近2回のNCGM国際感染症フォーラム プログラム

第8回：テーマ「Global Health Issue : Vaccines for Preventable Diseases」

演題	発表者 (敬称略)	役職 (発表時)
Current Situation and Perspectives on Vaccines in Japan	岡部 信彦	川崎市安全研究所 所長
Japanese Regulatory Perspective on Vaccine Development	山岸 義晃	日本医薬品医療機器総合機構ワクチン等審査部
Surveillance and Clinical Research of Diseases Caused by Immunization at Sulianti Saroso IDH	リスダワティヴィヴィ	インドネシア保健省健康局 局長 スリアンティ・サロソ感染症病院
Perspectives for Vaccines Outside High-income Countries: from Experience at Gavi, the Vaccine Alliance	氏家 無限	NCGM 国際感染症センターラベルクリニック 医長 / 予防接種支援センター長
Vaccine for Preventable Disease in Thailand	ウアラクル・プラサート	マヒドン大学シリラート病院研究部副部長

第7回：テーマ「Global Health Issue: AMR Control」

演題	発表者 (敬称略)	役職 (発表時)
Global Health Issue: Trend of AMR Control	井上 肇	NCGM 企画戦略局長
AMR Action Plan in Japan and AMR Reference Center Activity	具 芳明	NCGM AMR リファレンスセンター情報・教育支援室長
The facts and assignments for implementation of TB-LAMP in developing countries	渡 一	栄研化学株式会社 執行役海外事業室長
Antimicrobial Drug Development and its Foresight	平井 敬二	杏林製薬株式会社 相談役
AMR Control in the Philippines	Antonio Villanueva	NCGM 臨床研究センター 国際ショナルトライアル部